

### 【はじめに】

長期臥床により日常生活動作が低下した症例が移動手段を再獲得後、指示的介入を行うことで症例の希望である「買い物がしたい」という目標を達成することが出来た。成功体験と共に生活関連技能の習得が出来た為報告する。

### 【症例とこれまでの経過】

50代男性。統合失調症慢性期欠陥状態。10代より精神科へ通院歴あり。塾講師をしており7年前にA病院へ入院。寝たきりとなり廃用に対するリハ目的で当院へ転院。介入当初より「売店で買い物がしたいです」「〇〇がたべたいな」と訴えていた。リハビリにより機能的自立度評価表(FIM)の移乗動作3点から6点、車いす移動2点から7点まで改善、移動手段を再獲得出来た為生活関連動作訓練に取り組んだ。当院倫理委員会の承認とご家族様に同意を得ている。

### 【評価/問題点】

売店へ行く機会を大声で頻回に求める。移動中は自販機を眺め指示が入りにくいことがある。「僕、お金がないので130円くらいどうにかありませんかね」と訴え、家族に対しては「いいから1万円頂戴」ときつい口調で求める。計算能力が高い。買い物に使用できる金銭が無く金銭使用までの現実検討能力が低下していた。FIMの金銭管理についての問題解決4点。

### 【最終目標】

買い物を達成することで成功体験を得る。

### 【作業療法の経過】

症例の希望の達成を目的とし、多職種による金銭面の環境設定とカナダ作業遂行モデルに基づいた計画の支援を行い、買い物の実施に至った。他職種症例検討会ではお小遣いカードの使用、上限金額、記録方法を決定。症例へそれらを提示し、カレンダーを用いて買い物計画を作成、予定購入商品を決定。買い物の実施では車いすを自走し売店まで移動。予定していた商品を選択し、付き添い看護師へ値段を確認、合計金額の計算をしながら自己判断の下、上限金額内で購入。帰宅後お小遣い帳へ購入商品名と金額、購入金額を記入、残金を確認しながら金銭管理を行った。

### 【最終評価】

買い物ができたという成功体験を経て、笑顔で「僕、買い物できました」と自信を持つことが出来た。買い物実施場面では上限金額内で商品の選択と購入、実施後場面ではノートを使用しての金銭管理という現実検討能力の向上がみられ生活関連技能の習得が出来た。FIMの金銭管理に対する問題解決点。買い物への執着が軽減した。

### 【考察】

クライアント中心の実践のための基礎は可能にすることと言われ、可能にするということはクライアントと共に何かをする過程を指すと述べている。支持的介入による成功体験が症例の自信となり、生活関連技能の習得につながったと考える。精神状態に合わせて枠組みを提供し実際の環境で行うことは症例の能力を引き出すことに非常に効果的である。精神疾患を理由に活動範囲や能力を線引きせず、個人に合わせた作業を提供していきたい。

はじめに 長期臥床によりADL低下した症例に対し移動能力再獲得後、支持的介入を行うことで「買い物がしたい」という希望を達成、生活関連技能の習得が出来た為報告する。

### 症例とこれまでの経過

50代 男性 統合失調症慢性期欠陥状態  
10代より通院歴有り、職業は塾講師

FIM: 移乗動作 3点→6点  
車いす移動 2点→7点

「売店で買い物したいです」  
「ジュースが飲みたいなあ」

買い物実施  
してみよう！

当院倫理委員会の承認と御家族様に同意を得ている

### 評価

- ・売店へ行く機会を頻回に求める
- ・自販機を眺め指示が入りにくい

「130円くらいどうにかなりませんかね」  
「いいから1万円頂戴！」

使用できる金銭が無く、  
使用までの現実検討能力低下。HADS:29点  
FIM: 金銭管理についての問題解決4点



### 作業療法の経過

#### 多職種カンファレンス



①購入方法

お小遣いカード使用

②実施頻度

週に1回  
病棟看護師  
付き添いのもと実施

③上限金額

月に2000円

④管理方法

見える化を！  
お小遣い帳への記入  
金銭の自己管理

### 症例へ提示・買い物計画

・カレンダーを使用した買い物計画

「1回に使えるのは500円ですね。」

・購入予定商品を決定

「ポテトチップスとコーラと  
残りで何か1つ買います。」

### 買い物実施

計画通りに買い物を実施することが出来た！

「僕、買い物できました！」



車椅子移動



商品選択



会計



記録・金銭管理

### 最終評価

FIMの金銭管理に対する問題解決6点  
HADS:22点 → 不安・抑うつ軽減傾向

- ・感情的な意思の表出の減少
- ・買い物への執着が軽減
- ・次回の買い物の計画を助言無しに実行

### 考察

クライアント中心の実践⇒可能にすること

「買い物がしたい」  
目標達成



成功体験

精神疾患を理由に活動範囲や能力を線引きせず  
に個人に合わせた作業を提供したい